

# 国際交流体験プログラム

## エンパワメントプログラム 8月15日(月)～19日(金)

このプログラムは、外国の大学で学ぶ大学生・院生の少人数グループとのテーマ別ディスカッションを全て英語で行うことにより、同世代の学生の考え方・生き方にふれ、世界の様々なものの見方を感じ取らせ、積極性・主体性・チャレンジ精神の涵養を図るとともに、英語力及びコミュニケーション能力の養成を図ることを目的としています。

### 概要

### 参加者と内容

#### 1 参加者

ファシリテーター 川西 俊吾（北陸先端科学技術大学院大学教授）  
留学生 男子3人，女子4人  
高校生 岐阜高校  
          一年生16人  
          二年生12人  
          大垣北高校  
          一年生 1人  
          二年生 1人  
ホームステイ協力者  
          岐阜高校7家庭



#### 2 内容

- 8月15日(月)
  - ・自己紹介，班づくり
  - ・Positive Thinking
- 8月16日(火)
  - ・My Identity（自分への気付きと他者との共存について）
  - ・Project 1/Let's discuss advantage and disadvantage about nuclear energy
- 8月17日(水)
  - ・Leadership（リーダーに必要な資質について）
  - ・Project 2/How can we contribute to the world peace?
- 8月18日(木)
  - ・Internationalization and Globalization（グローバル化への視点について）
  - ・Project 3/How can you acquire global competence to be successful in a globalized society?
- 8月19日(金)
  - ・My Dreams and Goals（プログラム全体のまとめと自分の将来像について）
  - ・Final Presentation，まとめのレクチャー，修了証の授与



第一日には多様性（diversity）について考えました。国境はあるようでも、実はそれは人為的なものです。国が自国の人と領土を富ませようと躍起になるとき、資源や経済のことに真っ先に着手しますが、果たしてどこまでが「我が国」でしょうか。

例えば朝食に食べたものは誰が作ったものでしょうか。調理は母親だったかもしれませんが、穀物も野菜もお肉もそうでしょうか？ それらを作り、運んだのは「誰かは分からないが重要な他者」(Unknown Significant Others, USO)なのです。誰もが誰かのために何かで貢献していて、そのつながりと多様性で世界は成り立っていることに気付かされました。

第二日には、エネルギー問題を原子力発電の長短と合わせて考えました。重要なのは、福島で大事故が起きたから原発は危険で、原発重視を回避するのに自然エネルギーを模索するという図式ではなくて、エネルギーの有効利用を考えるには、身近なところに改めるべき習慣があることに気付くことです。

第三日に考えた平和への貢献では、このプログラムを通して考えてきた Diversity, Leadership, Positive Thinking の考えをもって、グローバルな視点に立つとはどういうことかを考えました。平和で豊かな社会の中にいられる日本人は、人の心の豊かさを知っていて、それを人に伝えることができます。これまでに幾度もあった停戦のいずれもが、何らかの理由が付けられて都合よく破棄され、戦いが終わることはありませんでした。敵対心から平和が芽生えることはなく、停戦合意書の紙切れが増えるだけなのです。平和は作るものであって待っていても来ないのです。国家間の交渉事は心の安寧があってこそ成就するのではないのでしょうか。日本人はそれができる立場にいることを確認しました。

第五日には総括的な講義を聴いて考えました。国際的な競争の場では従来ゼロサム・ゲーム (Zero-sum game) でした。これは、一国が利を得るとき、他国はそれと等価の害を蒙る競争です。例えば、我が国が使う割り箸を供給する国は森林資源を失うのです。こうしたとき、Winner と Loser 両者の利害を合算すると差し引きゼロになるという考えです。一方、Positive-sum game (Win-win game) ではどうでしょうか。例えば、汚染された環境を浄化したとき、技術を提供した側も、その恩恵を受ける側も Winner です。どんなときにも、対象や課題を虚心坦懐に見て、基本に立ち返って考えることが大切で、自分の行動を決める判断力を確かなものにしていく不断の努力が必要であることを学びました。



グループで討論する

## 感想

### 参加した生徒の感想文から (抜粋)

- 自分に対して自信がもてるようになりました。英語力だけでなく、人間力の向上にもつながりました。
- 最初はすごく不安だったし、英語は得意ではなかったけれど、文法ができなくて

も留学生や班の人と英語でディスカッションができ、本当に良かった。

- "You can do it!"という言葉にこんなに力があるとは思いませんでした。
- エンパワーメントプログラムの参加者みんながお互いのことを信じていて、私もみんなが夢を実現すると思います。自分も夢を本当に実現しようと決意することができました。



プレゼンテーションの場面